

令和元年度

環境調査結果報告書

幸 田 町

# 目 次

<b>I 環 境 概 況</b> . . . . .	1
1 大 気 汚 染	
2 水 質 汚 濁	
3 騒 音	
4 農薬汚染調査 (ゴルフ場)	
<b>II 本 編</b>	
1 大 気 汚 染 . . . . .	2
1-1 一般大気環境測定結果	
1-2 有害大気汚染物質測定結果	
1-3 ダイオキシン類測定結果	
2 水 質 汚 濁 . . . . .	4
2-1 河川水質調査結果	
2-2 地下水調査結果	
2-3 工場排水調査結果	
3 騒 音 . . . . .	6
4 農薬汚染調査 . . . . .	6
<b>III 資 料 編</b>	
1 大 気 汚 染 . . . . .	7
2 水 質 汚 濁 . . . . .	16
2-1 河川水質調査結果	
2-2 地下水調査結果	
2-3 工場排水調査結果	
3 騒 音 . . . . .	44

## 用 語 集

## I 環境概況

幸田町は、町民の健康的な暮らしとより良い生活環境保全のために、町内の大気汚染や水質汚濁の状況などの環境調査を継続的に実施している。

令和元年度環境調査結果の概況は以下のとおりである。

### 1 大気汚染（資料編：P7～15）

環境基準項目（10項目）を夏季、冬季に各1回調査した。夏季は10項目のうち9項目が環境基準値を満了し、1項目（光化学オキシダント）が環境基準値を超過した。冬季は全10項目が環境基準値を満了した。

### 2 水質汚濁

#### (1) 河川水質（資料編：P16～36）

幸田町内の12河川（全16地点）の水質検査を実施した。16地点のうち、夏季は1地点、秋季は5地点が生活環境項目の環境基準値を満了した。また、16地点のうち2地点については重金属等有害項目の検査も実施した。その結果は、2地点ともに環境基準値を満了した。

#### (2) 地下水水質（資料編：P37～40）

幸田町内の地下水を17地点で検査した。全17地点のうち16地点が地下水環境基準値を満了し、1地点が地下水環境基準値（硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素）を超過した。

#### (3) 工場排水水質（資料編：P41～43）

幸田町内の9事業所の排水の調査を実施した。全9事業所が排水基準値を満了した。

### 3 騒音（資料編：P44～54）

県道292号線沿線の1地点（野場地内）で騒音測定を実施した。昼間及び夜間の両区分が環境基準値を満了した。

### 4 農薬汚染調査（ゴルフ場）

幸田町内ゴルフ場の調整池1地点において農薬汚染水質調査を実施した。水質検査の結果、ゴルフ場農薬暫定指針値を満了した。

## Ⅱ 本 編

### 1 大気汚染

#### 1-1 一般大気環境測定結果（資料編：P7～15）

一般大気環境測定を幸田町保健センター敷地内において夏季（令和元年7月24日～7月31日）、冬季（令和2年1月15日～1月22日）に実施した。測定項目は、環境基準が設定されている浮遊粒子状物質等5項目（浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素及び光化学オキシダント）とした。

測定の結果、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素は夏季、冬季ともに環境基準値を満たした。光化学オキシダントは、冬季は環境基準値を満たしたが、夏季は環境基準値を超過した。一般大気環境測定結果は表Ⅱ1-1のとおりである。

表Ⅱ1-1 一般大気環境測定結果の概要

調査項目		夏季	冬季	環境基準値
二酸化窒素	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.005	0.015	0.04～0.06以下
	1 時 間 最 高 濃 度 (ppm)	0.019	0.033	-
二酸化硫黄	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.001	0.001	0.04以下
	1 時 間 最 高 濃 度 (ppm)	0.003	0.005	0.1以下
浮遊粒子状物質	期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m <sup>3</sup> )	0.033	0.014	0.10以下
	1 時 間 最 高 濃 度 (mg/m <sup>3</sup> )	0.092	0.045	0.20以下
一酸化炭素	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.2	0.3	10以下
	8 時 間 平 均 濃 度 の 最 高 値 (ppm)	0.3	0.5	20以下
光化学オキシダント	期 間 内 平 均 濃 度 (ppm)	0.030	0.020	-
	1 時 間 最 高 濃 度 (ppm)	0.088	0.045	0.06以下

#### 1-2 有害大気汚染物質測定結果

有害大気汚染物質測定を幸田町保健センター敷地内において夏季及び冬季に実施した。測定項目は環境基準が定められているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンとした。

測定の結果、全測定結果が環境基準値を満たした。詳細は、表Ⅱ1-2のとおりである。

表Ⅱ1-2 有害大気汚染物質測定結果

調査項目		夏季	冬季	環境基準値
ジクロロメタン	(mg/m <sup>3</sup> )	0.0012	0.0013	-
ジクロロメタン (年平均)	(mg/m <sup>3</sup> )	0.0013		0.15以下
ベンゼン	(mg/m <sup>3</sup> )	0.00054	0.0010	-
ベンゼン (年平均)	(mg/m <sup>3</sup> )	0.00077		0.003以下
トリクロロエチレン	(mg/m <sup>3</sup> )	0.0002	0.0003	-
トリクロロエチレン (年平均)	(mg/m <sup>3</sup> )	0.0003		0.2以下
テトラクロロエチレン	(mg/m <sup>3</sup> )	0.00005	0.00005	-
テトラクロロエチレン (年平均)	(mg/m <sup>3</sup> )	0.00005		0.2以下

### 1-3 ダイオキシン類測定結果

ダイオキシン類測定を幸田町保健センター屋上において夏季（令和元年7月24日～7月31日）、冬季（令和2年1月15日～1月22日）に実施した。

測定の結果、大気中ダイオキシン類は環境基準値を満たした。詳細は、表Ⅱ1-3のとおりである。

表Ⅱ1-3 ダイオキシン類測定結果

調査項目	夏季	冬季	環境基準値
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.0072	0.033	-
ダイオキシン類（年平均） (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.020		0.6以下

## 2 水質汚濁

### 2-1 河川水質調査結果 (資料編：P16～36)

幸田町内の12河川(16地点)の水質調査を2回(令和元年7月及び11月)実施した。

今回の調査対象河川は、環境基準が設定されていないが、参考として広田川下流の矢作古川全域が適用される環境基準(河川B類型)と比較した。環境基準値を超過した地点、項目を表Ⅱ2-1に示した。

夏季調査(令和元年7月25日実施)は、溶存酸素量、浮遊物質量、生物化学的酸素要求量が全地点(16地点)で環境基準値に適合した。水素イオン濃度は、全16地点のうち14地点が環境基準値に適合し、2地点が環境基準値を超過した。また、大腸菌群数は、全16地点のうち2地点が環境基準値に適合し、14地点が環境基準値を超過した。

秋季調査(令和元年11月16日実施)は、溶存酸素量、生物化学的酸素要求量が全地点(16地点)で環境基準値に適合し、健康項目(カドミウムはじめ8項目)も全地点(調査対象2地点)が環境基準値に適合した。水素イオン濃度は、全16地点のうち15地点が環境基準値に適合し、1地点が環境基準値を超過した。また、大腸菌群数は、全16地点のうち6地点が環境基準値に適合し、10地点が環境基準値を超過した。

表Ⅱ2-1 河川環境基準超過地点

夏季(令和元年7月25日)調査分

調査地点		水素イオン濃度	大腸菌群数 (MPN/100mL)
柳川	稲熊野橋	-	14,000
	楠橋	-	54,000
石川	下橋	-	14,000
広田川	新田橋	-	35,000
相見川	新御殿橋	-	24,000
田多美川	赤川宅裏橋	9.6	22,000
前田川	前田橋	9.8	-
赤川	広田川合流	-	54,000
広田川	広田橋	-	54,000
前野川	前野橋	-	54,000
広田川	神前橋	-	24,000
舟山川	中川橋	-	160,000
拾石川	海谷橋	-	160,000
足後川	落合橋	-	92,000
拾石川	堀留橋	-	35,000
環境基準値(B類型)		6.5以上 8.5以下	5,000以下

秋季(令和元年11月19日)調査分

調査地点		水素イオン濃度	大腸菌群数 (MPN/100mL)
柳川	稲熊野橋	-	7,000
	楠橋	-	14,000
広田川	新田橋	-	7,900
田多美川	赤川宅裏橋	-	7,000
尾浜川	御櫻橋	-	7,000
前田川	前田橋	9.4	-
赤川	広田川合流点	-	9,400
広田川	広田橋	-	22,000
舟山川	中川橋	-	54,000
拾石川	海谷橋	-	11,000
拾石川	堀留橋	-	17,000
環境基準値(B類型)		6.5以上 8.5以下	5,000以下

## 2-2 地下水調査結果（資料編：P 37～40）

幸田町内の個人宅 14 地点・事業所 1 地点・公共施設 1 地点・上水道ポンプ場 1 地点（計 17 地点）の地下水について、地下水環境基準項目及び水道水質基準項目の調査を実施した。その結果、17 地点のうち 16 地点が地下水環境基準値を満たした。

地下水環境基準値を超過した調査地点、また参考として調査結果が水道水質基準を超過した地点を表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要に示した。

表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要

水質分析項目及び単位		①坂崎学区	③坂崎学区	④幸田学区	⑥幸田学区	⑦中央学区	⑧簡易上水道ポンプ場(定点)	地下水環境基準	<参考>水道水質基準
一般細菌	個/ml	270	1200		540	210	170	—	100以下
大腸菌	—		(+)			(+)	(+)	—	検出されないこと
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	15.3*	0.73					10以下	10以下
鉄及びその化合物	mg/L		5.4			0.34		—	0.3以下
マンガン及びその化合物	mg/L	0.290	微土臭	0.084			微土臭	—	0.05以下
pH値	—	5.5	29					—	5.8～8.6
色度	度		6.5		5.6	12		—	5以下

注：「\*」は環境基準値を超過した項目である。

水質分析項目及び単位		⑫深溝学区	⑬深溝学区	⑭豊坂学区	⑮豊坂学区	⑯豊坂学区	地下水環境基準	<参考>水道水質基準
一般細菌	個/ml		190		170		—	100以下
大腸菌	—		(+)			(+)	—	検出されないこと
鉄及びその化合物	mg/L						—	0.3以下
pH値	—	0.45		5.5			—	5.8～8.6
臭気	—						—	異常でないこと
色度	度						—	5以下
濁度	度						—	2以下

注：「\*」は環境基準値を超過した項目である。

## 2-3 工場排水（資料編：P 41～43）

幸田町内の事業所 9 箇所（㈱デンソー 西尾製作所、飯島精密工業(株)幸田工場、(株)豊幸、中村精機(株)、幸南工業(株)幸田工場、(株)アピックス、道の駅 筆柿の里・幸田、ドミー幸田店、(株)エアウィーブ 幸田工場）の排水の水質検査を実施した。水質検査の結果、全事業所が排水規制基準値を満たした。

### 3 騒音 (資料編：P 44～54)

県道 292 号線の沿線 1 地点 (野場地区) において騒音調査を実施した。調査結果を表 II 3-1 に示した。調査の結果、騒音は昼間及び夜間ともに環境基準値を満たした。

表 II 3-1 騒音調査結果

時間区分	騒音レベル	環境基準
昼 間 (午前 6 時～午後 10 時)	70 dB	70 dB
夜 間 (午後 10 時～午前 6 時)	65 dB	65 dB

### 4 農薬汚染調査 (ゴルフ場)

葵カントリークラブ内の調整池 1 地点において農薬汚染水質調査を実施した。水質検査の結果、ゴルフ場農薬暫定指針値を満たした。

表 II 4-1 葵カントリークラブ 平岩池 水質検査結果

水質検査項目	水質検査結果	指針値
ダイアジノン (殺虫剤)	0.005mg/L 未満	0.05mg/L
オキシ銅 (殺菌剤)	0.02 mg/L 未満	0.4 mg/L
チオファネートメチル	0.3 mg/L 未満	3 mg/L
バリダマイシン	1 mg/L 未満	12 mg/L
ボスカリド	0.1 mg/L 未満	1.1 mg/L
プロピザミド	0.05 mg/L 未満	0.5 mg/L